

平成30年度 2学期授業改善への一言

教科	職名	授業満足度[%]	改善への実践法
普通	教諭	97%	生徒が一層主体的に取り組める授業展開を心掛ける。
	教諭	97%	説明が多い授業になってしまったため、発問等を工夫し、生徒が主体となって学ぶ場をもっとつくっていききたい。
	教諭	97%	細かい板書を希望する生徒も数名いる中、できることならばイメージ的な板書に自分自身からコメントを書き込んでいくことが出来るように表現していきたい。授業プリントなどもノートにはさんでおくだけではなく、のりで貼るなどの作業を通して、自分自身の教科ノートを作らせていきたい。(記録を記録として残す)
	教諭(再フル)	100%	見やすい資料・プリントを提示して、わかりやすい授業内容を心掛けたいと思います。
	教諭	97%	担当している全生徒が分かるような授業を心掛けたい。
	教諭	100%	わかりやすいと感じている生徒が多く安心する一方で、学習内容の理解がどれほど追いついているのだろうかという不安も感じる。より一層生徒の実態に合わせた教材研究をしていく必要がある。
	教諭(再短)	97%	生徒が理解したかどうか確認し、板書事項を写し終わったかどうか確認しながら授業を進めたいと考えます。
	臨任講師	95%	教科書や問題集の間だけではなく、プリント等を多く用いてより多様な問題に取り組めるようにしたい。
	教諭	93%	身の回りの物理現象と関連させて、理解しやすく進めていきたい。
	教諭	100%	話し合いや、討論する授業形態をできる限りとっている。化学と人間生活は中学と高校の間くらいの中間の教科であり、つかみどころが難しい。毎回のテーマをもっと強くだしていこうと反省した。
	教諭	100%	技術の向上だけでなく、ルールなどの知識や場面に応じて行動できる思考力を深める展開を工夫したい。
	教諭	100%	経験者以外の生徒がより活躍できるよう、ルールを修正するなどして改善したい。
	教諭(再フル)	95%	選択の屋外種目が雨の場合は室内種目に対応するが、今年は雨が多すぎたので室内種目の内容を検討し、より良い内容にする。
	教諭(再フル)	100%	一人一人と時間を作って話すようにしたい。
	教諭	96%	生徒の状況を見極めながら授業を進めているが、より主体的で深い学びにつなげるような活動をさらに増やしていきたい。
	教諭	100%	今後もALTとの授業を活用しながら、英語に興味をもたせ、さらに、英語で考える力や表現する力を養わせたい。
	教諭	100%	前学期まで行っていたプレゼンテーションに関する意見が多かったので、今後の課題としたい。また、グループワークや活動の時間を増やし、生徒同士の学び合いの場を多くしていきたい。
	教諭	95%	ワークシートを改善しわかりやすくしたいと思います。実習の内容を検討してより良いものにしていこうと思います。
電子機械M	教諭	97%	3学期もわかりやすい授業を心がけ、電気基礎の学力を向上させたい。
	教諭	97%	板書を減らし、プリントで対応する部分を増やしたいと思います。
	教諭	100%	相談したり、話し合ったり、発表したりする学習活動を増やす。
	教諭	90%	生徒が主体的に考えて発表できるような授業展開を心掛ける。また、家庭学習の充実を図る。
	臨任講師	97%	貴重な意見ありがとうございます。以後、頑張ります。
	実習助手	97%	進度が一緒になるように、機材の準備をしておく。
	実習助手	97%	進度の遅い生徒は、個別に対応する。
電気E	教諭	90%	計算の苦手意識のある生徒がいるため、発電所内の各効率などを求めるときに、生徒同士で教え合う演習の時間を確保するようにしたい。
	教諭	97%	説明中心の授業になってしまうので、生徒に興味・関心を持ってもらうために、趣向を凝らしたい。
	教諭	98%	中間考査から約一ヶ月、これまで学習した内容を繰り返し学習した。期末考査においても、その内容を出題したが、思う程の成果を得ることができなかった。3学期はもう少し掘り下げて、中学校の内容を含めた内容にして基礎・基本の徹底を図
	教諭	97%	回路の特徴を短い言葉で伝えることで、生徒が理解しやすくなるようにする。
	教諭	90%	わかりやすい教材について、生徒の日常生活にかかわるものなどを挙げ、興味・関心をもっといだけるよう工夫していきたい。基礎・基本の定着を図るために、家庭学習を課すとともに自習用の配布物を用意したい。
	実習助手	100%	生徒一人一人の考える力がついてきているので、社会に出てからも、その能力が発揮できるよう今後も同様に指導していきたい。
	実習助手	100%	基礎学力の定着に向けて、今後も分かりやすい実習を行っていきたい。
情報技術I	教諭	92%	プリントの解答方法や適語について、穴埋め解答にならない各自が調べたり解答を導き出せるような授業展開を心掛ける。
	教諭	92%	生徒の活動(生徒同士で相談しながらの演習などの時間)を増やしていきたい。
	教諭	96%	一人ひとりの理解度が異なるためそれぞれに合わせた授業展開ができるよう心掛けます。
	教諭	100%	たびたびテストを行い、理解度を把握しながら進める。
	実習助手	92%	知識・技能の定着を向上させる対策が必要。
	実習助手	94%	生徒全員のレベルを把握し、教材や課題の内容、指導方法を見直し、取り組みやすい授業になるよう努める。
	実習助手	100%	生徒の状況に応じて、主体的で深い学びになるよう心がけていきたい。
建設P	教諭	89%	これからも分かりやすい授業を行い、みんなが発表したりできるような授業を心がけます。
	教諭	98%	遅れがちな生徒への対応に、工夫していきたいと思います。
	教諭	100%	学習の習熟度に個人差がみられてきている。個に応じた指導に力を入れ、生徒1人ひとりの学習の深化を図れるように授業を工夫していきたい。
	教諭	100%	難しい計算が多いので、生徒の実情にあったわかりやすい授業を引き続き心掛ける。
	教諭	95%	生徒たちの意見を参考に、授業準備の工夫をしていきます。
	教諭(再フル)	89%	土木基礎力学2は水理学と土質力学の基礎から構成されています。土木施工との関連もあり大切な部分を特に選び授業展開しました。先日の試験に出た用語や小オリフィス、連続の式ベルヌーイの定理は特に大切です。覚えましょう。
	実習助手	100%	座学の授業と実習の授業の関連性をもう少し改善していきたい。
	実習助手	98%	他の教員と連携し、生徒一人一人に対応した授業を展開できるよう工夫する。
	実習助手	98%	生徒個々の理解度のばらつきをなくすため、個々への支援を強化していく。
	非常勤講師	100%	理解力の差を緩和するため、予習・復習しやすい教材を準備します。
非常勤講師	92%	欠席者はほとんどなく、授業開始時には着席している。あとは内容の問題です。授業担当者として、何をどう伝えるか。生徒は集中して努力してほしいです。	
非常勤講師	100%	多くの生徒がとても集中して授業を受けていて、発想力もあります。さらにその力を伸ばすと、作品提出が遅れてしまう生徒への対応に力を入れたい。	
非常勤講師	100%	書道用具を変えて道具の違いや文字の構成による違いなど表現方法の違いがあることを指導していきたい。	